**基本ルール（概要）**

**1. はじめに**

本ドキュメントは、CentralConditionプロジェクトの基本ルールを定め、運用の一貫性と透明性を確保することを目的とします。本プロジェクトは、AIを活用した業務効率化および意思決定支援を主軸とし、適切な運用管理のもとで発展を目指します。

**2. 運用**

**2.1 システム管理**

* **リソース管理**: 計算資源の最適化、不要データの整理を定期的に実施
* **エラー対応**: エラーログの記録と分析を行い、改善策を策定
* **セキュリティ対策**: 定期的な脆弱性診断、アクセス制御の適用
* **ディザスタリカバリ**: 定期的なバックアップおよび障害発生時の対応手順を明文化

**2.2 バージョン管理とロールバック**

* **バージョン管理**: GitおよびMLflowを使用し、変更履歴を追跡
* **ロールバック**: 影響範囲を評価し、安全な復元手順を確立

**2.3 監査と評価**

* **内部監査**: 四半期ごとの運用監査を実施し、問題点を特定
* **外部監査**: 年1回、第三者機関による監査を受け、透明性を確保

**3. 情報・コミュニケーション**

**3.1 情報管理**

* **アクセス管理**: 最小権限の原則に基づき、アクセス制御を厳格化
* **データ保持**: 保管ポリシーに従い、不要データは適時削除

**3.2 コミュニケーション**

* **社内連携**: 定期的な報告会の開催、チャットツールの活用
* **エスカレーション**: 重大案件はマネージャーへ迅速に報告

**4. リスク管理**

**4.1 危機管理プロトコル**

* **リスクレベル分類**:
  + 低: 影響が軽微なエラー（ログ記録のみ）
  + 中: 一部の機能が影響を受ける問題（チーム内共有）
  + 高: サービス全体に影響（即時対応、経営陣報告）
* **対応策**: 影響範囲の特定、原因分析、改善策の実行

**4.2 法的遵守と規制対応**

* **関連規制**: 個人情報保護法、GDPR、知的財産権関連法の遵守
* **法務部門との連携**: 定期的なコンプライアンスチェックの実施

**5. 発展・改善**

**5.1 学習と改善**

* **データ更新**: 学習データの定期的な見直しとクリーンアップ
* **フィードバック活用**: ユーザーからの意見を基に改善を実施
* **強化学習**: モデルの適応性を高めるため、適宜再学習を実施

**5.2 倫理・責任**

* **公平性の確保**: バイアス検出ツールの導入
* **透明性向上**: AIの意思決定プロセスを文書化
* **監査・教育**: 定期的な研修の実施、ガイドラインの更新

**6. まとめ**

本ルールに基づき、運用・管理を適切に行い、持続的な発展を目指します。変更が必要な場合は、関係者間で協議の上、適宜更新を行います。